

moshi moshi

2001 Vol.14

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょ

特集：「頭をガクガクは點頭てんかん？」



耳の下にある リンパ腺の腫れ

耳の下に大きい腫れがあると、ガンではないか、白血病ではないかとよく心配されるが、子どもはリンパ腺の機能がよいために風邪や口内炎、湿疹などでもリンパ腺が大きく腫れやすい。ここではリンパ球という白血球が作られていて、病気になると大きくなり、防衛のために大量のリンパ球を体の中に送り出している。いったん腫れるとしばらく大きいまま残ることもある。リンパ腺のガンや白血病の場合はどんどん大きくなるし、触ると石のように固い。一般に軟らかくて動く腫れは心配ない。



おちんちんの先に 白い固まり

おちんちんの皮の下に白い固まりがあるが、何かの病気か、できものかとよく聞かれるが、これは病気でもできものでもなく、おしっこのカスにすぎない。おしっこの中に含まれている塩分が亀頭と上にかぶさっている皮の間にたまって白いカスになった状態。

普通はむりにとったりもしない。ここにばい菌がついたり、膿が出るようなことがあればとることがあるが、普通は何もせずにそのままにしておく。

心配なら、小児科医にみてもらうとよい。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 毎週水曜日 14時～17時に受けつけています

低身長はメールでも受けつけています

アドレス moshimoshi@pep.ne.jp

ホームページ <http://club.pep.ne.jp/~moshimoshi/>

監修

横田俊一郎先生（横田小児科医院院長）

構成 / 泉美智子 イラスト・レイアウト / いとうやすこ

首をガクガクさせる、うなずくしぐさをする、いやいやを夢中でやり続けるなど、首を盛んに動かす子どもが多いのでしょうか、電話相談によくある質問のひとつです。ほとんどはある一時期に面白がってする癖なのですが、どうしても不安という場合は、そのしぐさをビデオにとって先生にみてもらうことがいちばんです。

頭をガクガク。點頭てんかんでは？

6か月から頭ガクガクの療。
1日に2回、6～7回繰り返すし、目つきもへん。
健診では心配ないといわれたけど不安がつる。

—11か月の女児のママからの電話相談から—



先生 ● いままで健診で相談はしていないのですか。
— 6か月と9か月健診で相談しました。2回とも神経的におかしいと思えないと問題にされませんでした。
先生 ● 點頭てんかんの子どもは発育が遅れている子が多いのですが、どうですか。
— もう歩きそうです。発育が遅れていると感じたことはありません。だしたら心配はないですね。
先生 ● いや、中には発育が遅れていない子もいるので、心配なら、それをやっているところをビデオカメラにとってお医者さんにみてもらったらどうでしょうか。點頭てんかんだと特徴的な脳波が出るので、必要な場合は脳波の検査をしたいと思います。
— やっぱ、その病気の可能性が強いんですね。
先生 ● 首がすわらないなど重い症状が出ることが多いのでお話を聞かぎり點頭てんかんだといえる特徴的なことではないのですが、絶対違うとはいえないので、本当にそうかどうかの検査を受けて診断してもらった方がいいんじゃないかと思うのですが。

— よくある病気なのですか。
先生 ● 5千人にひとりという程度のまれな病気です。
— 検査のときに睡眠薬で眠らせると聞きましたが、副作用が心配で、それで検査に行きたくないのですが。
先生 ● まったく問題はありません。そのために病院にも行かず、ただよくよくしているより、早く安心して子どもと楽しく遊んであげてほしいですね。

— 頭をガクガクさせたり、体ごと前に倒れたりするんです。本で點頭てんかんという病気があると読んでから不安です。
先生 ● そのときの目つきは？
— それが目つきも悪いのです。
先生 ● そんなとき声かけをするとどうなりますか。
— ひととしてこちらを向きます。
先生 ● いっかしっていますか。
— 生後半年くらいからです。
先生 ● 毎日しますか。
— 1日に2回くらいはします。
先生 ● 1回始めると繰り返しますか。
— 6、7回繰り返します。

6才11か月の男の子 105.1cmだが、検査は必要？

Q 36週で43cm、2200gで生まれ、1才7か月で74.2cm、8.6kgと身長、体重ともに少なく、5才になっても95.4cm、13kgとずっと小さめでした。こわくてまだ検査はしていませんが、必要ですか。

A 出生時の身長が-1.5SDを下回っているの、胎内発育不全があるということです。胎内発育不全がある場合、0才代にかなり伸びて追いついていく子もいるのですが、この時期にキャッチアップしないと最終的に低身長に終わる傾向にあります。

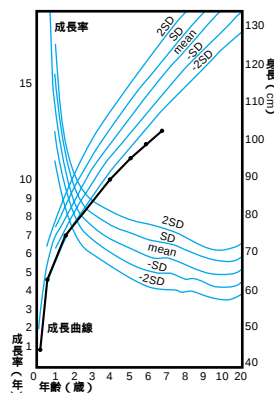
この子の場合、一時キャッチアップしていますが、最近の成長率も低く、現在の身長は-3SDくらいですから、こわいなどといわずに専門医できちんとみてもらったほうがいいですね。最初は外来での簡単な検査です。そして病気の疑いがある場合には入院検査となりますが、この検査で体質的に背が低いのか、病気のために背が低いのかはっきりします。



低身長

発達

伝い歩きをしない



1才4か月なのに、つかまり立ちまでしできない

Q 1才4ヶ月で歩くどころか、伝い歩きもできないのです。ジャングルジムには登れるし、動きたい意欲は満々なのですが、そういえば小さいころから足をツンツンしない子でした。マンマもいえるし、知恵づきもいよいように思えるのですが、こんなに遅い場合はやはり精密検査が必要でしょうか。

A 精密検査などの必要はないと思います。検査しても何もみつからないでしょう。赤ちゃん時代に足をピョンピョンしない子の中には歩くのだけが1才半から2才になる子がいるのです。でも遅れるのはここまで。中には伝い歩きをしないでいきなり歩く子もいます。その後の発達には遅れはありません。

いまはかかりつけの小児科医に定期的に見てもらっていいじゃないのですか。遅くても歩けるようになればいいのです。早い、遅いは大きな問題ではありません。